

# マスティンバー・イノベーション シンポジウム

ローク・マスティンバーDLT 日本初の解説本

「DLT 新しい木質材料が語る「持続可能な社会」のあり方」

出版記念 講演会 & 懇親会 in 法政大学



ローク木質材料「DLT（木ダボ接合積層材）」に関する、日本初の解説書が出版されました。「DLT」は、接着剤も釘も使わず、板に穴をあけて木ダボで留めるだけという極めてシンプルな、欧州発祥の木質材料です。この出版を記念して、共著者の長谷川泰治氏、網野禎昭氏と、元林野庁出身で木材の価値歩留まりの第一人者 大貫肇氏が登壇する、講演会&パネルディスカッションを開催致します。

なぜ今「ローク」が注目されるのか、「ローク・マスティンバー」の可能性を掘り下げつつ、本に込めた想いをお話します。著者や参加者と交流できる懇親会も開催。ぜひご参加ください！

日時：2026年3月13日（金）14:00～（13:30～開場）

場所：法政大学市ヶ谷田町校舎5F マルチメディアホール 東京都新宿区市ヶ谷田町2-33

定員：80名（予定）

対象：建築・林業・行政・デザイン関係者、木材活用、サステナビリティにご関心のある方

参加費：無料 交流会参加費6,000円（予定）

14:00～（仮）「木質材料DLTとの出会い－新時代の材木屋としての挑戦」

長谷川 泰治 氏

株式会社長谷川萬治商店 代表取締役執行役員社長

プロフィール 東京木場の材木屋、株式会社長谷川萬治商店の4代目社長。大学時代は情報システムを研究。卒業後、

電機メーカーのソニーでシステム開発や工場の生産革新活動に従事。2009年に家業の材木屋に入社。

現在、長谷萬グループの代表として、木材販売から木材加工、建築まで木材に関わる様々な事業を幅広く展開。近年は木育活動やデジタル技術の活用にも取り組み、「新時代の材木屋」を目指している。



15:00～（仮）「これからの林業を考える～山がよろこぶ木材の使い方～」

大貫 肇 氏

物林株式会社 顧問、株式会社レック 会長

プロフィール

東京農業大学林学科を卒業後、林野庁に入所し、林業行政に従事。東北森林管理局次長を務め、森林の現場管理・再造林・施設計画などの業務を担当する。退官後は物林株式会社に参画し、国産材の需要拡大、林業の活性化、再造林の低コスト化などを支援する。2025年、筑波大学にて博士号を取得。論文の題は「製材工場の動向が製材素材価格に及ぼす影響の解明」。



16:00～（仮）「ヨーロッパの木造建築から学ぶ山と社会のつなぎ方」

網野 禎昭 氏

法政大学デザイン工学部教授

プロフィール

1996年に渡欧、スイス連邦工科大学ローザンヌ校・木造研究所イボワにて研究助手。この間、林業から建築まで木材活用を一貫して考える視点を学ぶ。ウェーン工科大学建築学部教員を経て、2010年から法政大学デザイン工学部教授。日本や欧州の中山間地域を訪ね歩き、山を豊かにする建築のあり方を模索。



17:00～17:30 パネルディスカッション

懇親会

18:00～20:00

参加費6,000円 ※希望者のみ

場所：法政大学 市谷キャンパス

ボアソナードタワー25Fスタッフクラブ

※講演会場から徒歩約10分

ご参加お申込みは以下リンクまたはQRコードから、お申し込みをお願い致します。

<https://forms.gle/k5vRfQyBnwJF5cEs6>



お申込フォーム

お問合せ：（株）長谷萬 開発本部 鈴木/黒田 03-5809-8577 kuroda.yuta@haseman.co.jp

260205版